



「その他条例」を中心とした歴史的建造物利活用に係る研究会

第2期（平成29年度）プログラム

我が国の建築市場は、人口減少と経済縮小の見通しを踏まえ、スクラップ&ビルドからストック&リユース・リノベーションに大きく舵を切りつつあります。そして、歴史的建造物についても、その手法が保存から利活用に、保全活用の担い手も行政主体から民間事業者主体に、軸足が移りつつあります。

そのような状況の中、民間事業者にとってインセンティブとなる制度として、建築基準法第3条1項3号に基づく「その他条例」が注目され、制定する自治体ができました。

そこで、「その他条例」を中心とした歴史的建造物利活用に係るさまざまな知見を学び、疑問点や乗り越えるべき課題の解決に向けて協議していく研究会を平成28年度より始めました。平成28年度は県内の自治体を中心に関係課職員の参加を得て、建築基準法第3条1項3号その他条例の制度について知見を広めてきました。平成29年度は、その他条例の具体的な運用の仕方、具体的な建物での運用の実態と課題等について更に知見を深め、専門家等とネットワークを築いていく取組としたいと考えています。

奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

- 主催：湘南邸宅文化ネットワーク協議会（代表幹事：後藤 治工学院大学建築学科教授）
共催：HARNET 歴史的建築物活用ネットワーク
近代住宅遺産継承実践委員会
後援：横浜市
- 日時：第1回平成29年5月20日、第2回7月8日、第3回9月9日、第4回11月11日、
第5回平成30年1月20日、第6回3月17日 いずれも土曜日の13:30~16:00
- 会場：横浜開港記念会館（第1回~第5回）、横浜メディアビジネスセンター（第6回）
- 参加：県内を中心に自治体の関係部課職員・歴史的建造物の保存活用に携わる建築士等を対象。
事前申し込み制（下記メールにて登録 ※氏名・所属・参加回をお知らせください）
定員40名 参加費無料（但し資料代1000円/各回 ※当日会場にてお支払いください）
- 参加申し込み 及び問い合わせ先（事務局）：
（株）山手総合計画研究所 菅 孝能、戸田啓太、猪狩 渉
Tel:045-341-0087 Fax:045-261-3022 E-Mail:yamate21@y-p-c.co.jp

■ 平成 29 年度の研究会プログラム

「その他条例」の具体的な運用の仕方・仕組み、具体的な建物での運用の実態と課題等をお互いに検証していくと共に、専門家等とネットワークを築いていく取り組みとしたい。

- 第 1 回 テーマ 既存不適格建造物としての歴史的建造物のリノベーションと課題
講師：大野 敏 横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授
津村泰範 長岡造形大学建築・環境デザイン学科准教授
コメンテーター：後藤 治 工学院大学建築学科教授
日時：平成 29 年 5 月 20 日（土）13：30～16：00
- 第 2 回 テーマ 木造歴史的建造物の耐震診断と構造補強
講師：藤田香織 東京大学大学院工学系研究科准教授
佐藤孝浩 （株）桜設計集団一級建築士事務所
コメンテーター：大野 敏 横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授
日時：平成 29 年 7 月 8 日（土）13：30～16：00
- 第 3 回 テーマ 歴史的建造物の防災と歴史的意匠
講師：竹市尚広 （株）竹中工務店設計本部防災計画グループ長
関沢 愛 東京理科大学大学院国際火災科学研究科教授
コメンテーター：後藤 治 工学院大学建築学科教授
日時：平成 29 年 9 月 9 日（土）13：30～16：00
- 第 4 回 テーマ RC 歴史的建造物の耐震診断と構造補強
講師：楠 浩一 東京大学地震研究所 災害科学系研究部門 准教授
須賀順子 （株）竹中工務店設計大阪本店設計部構造部門
コメンテーター：後藤 治 工学院大学建築学科教授
日時：平成 29 年 11 月 11 日（土）13：30～16：00
- 第 5 回 テーマ 用途変更と集団規定の取り扱い
講師：小田嶋鉄朗 横浜市都市整備局都市デザイン室
池田麗子 川越市都市計画部都市景観課
コメンテーター：尾谷恒治（弁護士）
後藤 治 工学院大学建築学科教授
日時：平成 30 年 1 月 20 日（土）13：30～16：00
- 第 6 回 テーマ 包括同意基準と個別審査
講師：高木勝英 京都市都市計画局建築指導課
小田嶋鉄朗 横浜市都市整備局都市デザイン室
コメンテーター：後藤 治 工学院大学建築学科教授
日時：平成 30 年 3 月 17 日（土）13：30～16：00

● 会場案内図



■ 主催及び共催団体の紹介

湘南邸宅文化ネットワーク協議会



邸園文化圏再生構想

2001年の「湘南・小田原・箱根の別荘文化を考えるシンポジウム」をきっかけに2003年に設立された「湘南邸宅、文化ネットワーク協議会」は、神奈川県南部・西部及び隣接地域にある歴史的な住宅や別荘（これらを邸園と呼ぶ）を地域固有の文化として尊重し、次代へ継承するために、この問題に関わる人々が相互に交流を深め、共通の課題について研究協議することによって、社会における湘南地域の邸宅文化の理解を深め、その保存と活用の推進に資する事を目的に活動している。

毎年、湘南各地でシンポジウムを行う他、会員団体相互の情報交換とその活動支援、湘南邸園文化祭への協力等を行っている。14の団体会員と21名の個人会員で組織、会長はNPO旧モーガン邸を守る会代表、副会長はNPO葉山環境文化デザイン集団代表、代表幹事は後藤治工学院大学教授である。

HARNET 歴史的建築物活用ネットワーク



2013年歴史的建築物の有効利用を図る事を目指し、国家戦略特区に対して地域における歴史的建築物に係るルール（制度）の弾力的な運用に関する提案を行う事を目的に結成された団体で、全国35自治体、20のまちづくり団体からなるネットワーク組織で、安藤邦廣筑波大学名誉教授、西村幸夫東京大学教授、後藤治工学院大学教授が共同代表。

同提案の結果、2014年に国土交通省と消防庁より建築基準法3条1号3号の運用について通知が発出され、当団体はその通知を根拠に各地において地域が主体となって歴史的建築物の活用を推進するための条例等の新たなルール（制度）構築支援、勉強会開催、先行地域の情報共有の場づくり等を実施している。

近代住宅遺産継承実践委員会



本委員会（主査：津村泰範、副主査：尾谷恒治）は「一般社団法人住宅遺産トラスト（代表：野沢正光）」及び「加地邸保存の会（代表：藤森照信）」と連携し、貴重な住宅建築が地域社会で持続的に継承されるために葉山の加地邸をモデルに、建築、法律、税制、不動産等の知識と専門家のネットワークを駆使し、住宅としての利用を超えた活用の可能性、現行制度の課題とその解決の方向性、次代に引き継ぐための仕組みづくりを目指して活動している。

「その他条例」を中心とした歴史的建造物の利活用に係る研究会

事務局 (株) 山手総合計画研究所 菅 孝能、戸田啓太、猪狩 渉

Tel: 045-341-0087 Fax: 045-261-3022

E-Mail: yamate21@y-p-c.co.jp

横浜市中区吉田町10 都南ビル

事務局メンバー：菅 孝能、戸田啓太、猪狩渉、水沼淑子（湘南邸宅文化ネットワーク）

尾谷恒治、吉見千晶（住宅遺産トラスト）

山本玲子（歴史的建築物活用ネットワーク）